ながさき暮らしのデータBOX

長崎県限定インターネットリサーチ「リサチャン」アンケート

キャッシュレス決済について

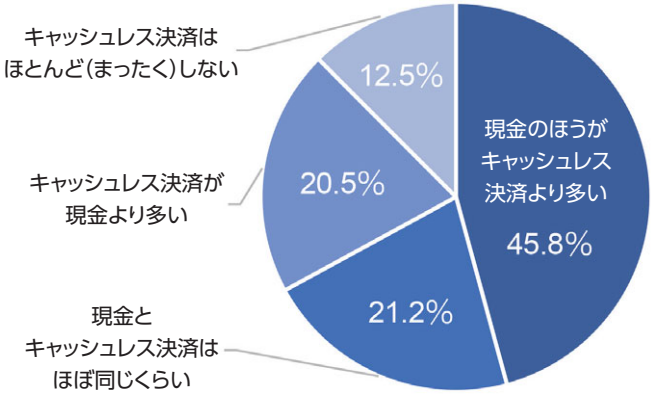
政府は、2019年秋の消費増税時から2020年夏の東京五輪前までの９カ月間限定で、キャッシュレス決済を行うと、中小の小売店で５％、コンビニなど大手のフランチャイズ店で２％をポイント還元するキャッシュレス推進策を打ち出しています。

そこで今回「リサチャン」では、県内の生活者における決済手段の見直しの意向について、アンケートを実施しました。

普段の買い物や飲食の支払いは、約６割が現金派

現在、オンラインショッピングを除く普段の買い物や飲食の支払いの際、現金とキャッシュレス決済のどちらを利用することが多いか尋ねたところ、最も多かったのは「現金のほうがキャッシュレス決済より多い」でした。「キャッシュレス決済は、ほとんど（まったく）しない」と答えた人を合わせると、回答者の58.3％が現金での支払いを主に利用していることがわかりました。

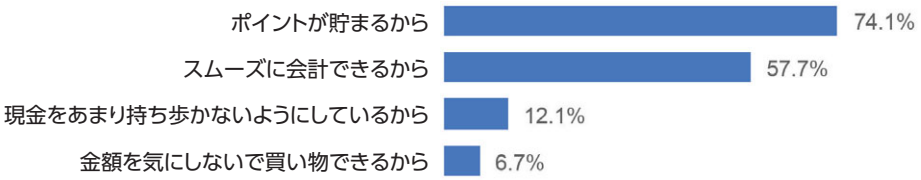
普段の買い物の決済方法（N=273）



キャッシュレス決済を利用する理由は「ポイントが貯まるから」74%

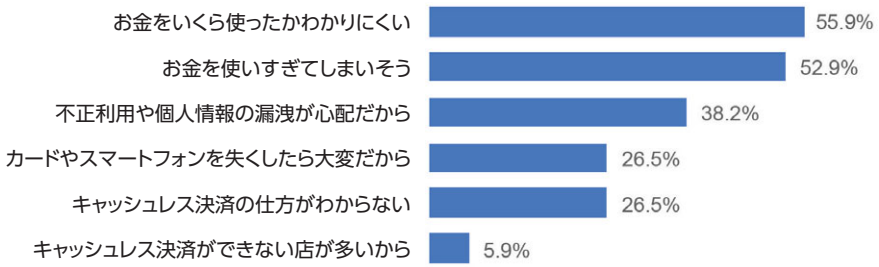
「キャッシュレス決済はほとんど（まったく）しない」と答えた人を除く人に、キャッシュレス決済を利用する理由について、複数回答で尋ねたところ、「ポイントが貯まるから」が最も多く74.1％、次いで「スムーズに会計できるから」が57.7％でした。

キャッシュレス決済を利用する理由（複数回答、N=239）



一方、「キャッシュレス決済はほとんど（まったく）しない」と答えた人に、キャッシュレス決済を利用しない理由について、複数回答で尋ねたところ、「お金をいくら使ったかわかりにくい」が最も多く55.9％、次いで「お金を使いすぎてしまいそう」が52.9％と、自身の支出の管理についての不安によるものであることがわかりました。

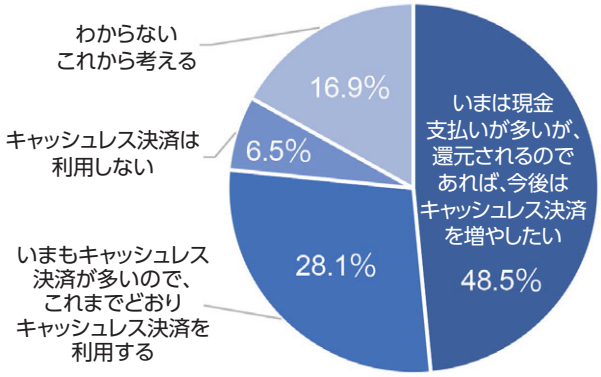
キャッシュレス決済を利用しない理由（複数回答、N=34）



４人に３人が今後キャッシュレス利用の意向

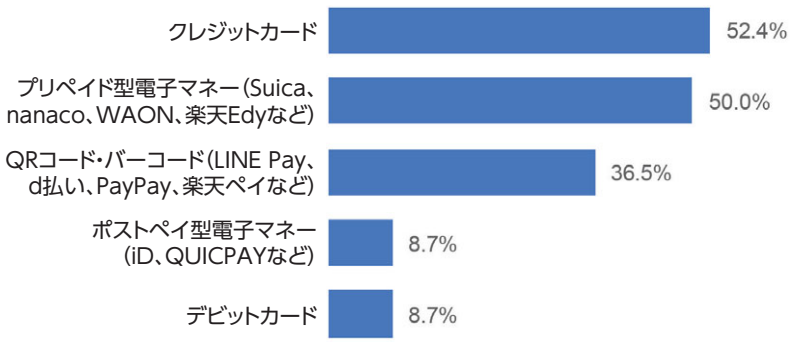
ポイント還元などのキャッシュレス推進策がとられることによって、決済手段を見直す意向があるか尋ねたところ、「いまは現金支払いが多いが、還元されるのであれば、キャッシュレス決済を増やしたい」と、決済方法の見直しの意向を示した人は48.5％でした。また、「いまもキャッシュレス決済が多いので、これまでどおりキャッシュレス決済を利用する」と答えた人は28.1％で、合わせて76.6％の人がキャッシュレス決済を今後利用する意向を示しました。

キャッシュレス化の意向（N=260）



そこで、今後キャッシュレス決済を増やしたいと答えた人に対し、増やしたいと思う決済方法について、複数回答で尋ねたところ、「クレジットカード」と「プリペイド型電子マネー」が最も多く、それぞれ回答者の５割以上に上りました。

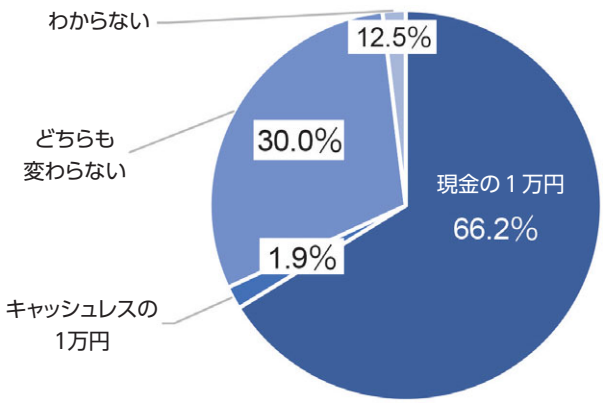
増やしたいと思う決済方法（複数回答、N=126）



現金とキャッシュレス、お金の重みを感じるのはどっち？

今春、財務省は紙幣のデザインを、2024年度上期をめどに刷新することを発表し、話題となりました。そこで､｢現金の１万円」と「キャッシュレスの１万円｣、どちらがよりお金としての重みを感じるか尋ねたところ、「現金の１万円」に重みを感じるという回答が66.2％に上り、「どちらも変わらない」（30.0％）を上回りました。「キャッシュレスの１万円」と答えた人は、1.9％にとどまりました。

お金としての重みを感じるのはどっち？（N=260）



「現金の１万円」のほうに重みを感じる理由としては、「現金が手元にあると安心するし、非常時には現金が使いやすい」（20代女性）や、「１万円を発券するのに、デザインや偽造防止などの手間がかかっているので、現物を手にとると、キャッシュレスの１万円と同じ価値ではあるが、現金に重みを感じてしまう」（50代女性）、「お祝い等で頂く時など、現金の方がどこでも何にでも使えるのでありがたい」（50代女性）、「流動性が高くて、どこの店でも決済で拒否されることがないので、安心して持っていられる」（40代男性）、「手元にあることでどれだけ使えるか即座に判断できる」（20代男性）などが挙がりました。

一方、「キャッシュレスの１万円」のほうに重みを感じる理由としては、「ポイントが上乗せされるから」（40代女性）や、「１万円以上の価値を生み出す可能性があるから」（50代男性）、「スマホ決済をよく使っているから」（40代男性）などが挙がりました。

「キャッシュレスに慣れているので現金支払いはめんどくさいが、現金は他で緊急時用に取っておきたい」（50代女性）といった意見にみられるように、普段キャッシュレス決済を利用していても、一方では、現金のありがたみを感じている人も多いこともわかりました。

今後キャッシュレス化が進むために必要なこと

ふだんの生活の中にもキャッシュレス化が進むためにはどんなことが必要だと思うか、自由記述で回答を求めたところ、最も多かったのは「安全性」で、「お店の人に悪用されるニュースを時々見ますが、その対策が徹底されると、安心してどこのお店でも使えるようになると思います」（60代女性）や、「安全の確保。それぞれの店でカードやアプリが異なるのは面倒だが、１つにまとめることも不安」（40代女性）、「高齢者にも安心安全で簡単な決済ツールをどんどん研究していく必要がある」（50代男性）などの意見がありました。

次に多かったのは「対応店舗数の拡大」で、「キャッシュレス決済時のレジ操作がもっと簡単になること」（30代女性）、「対応店を離島にも増やしていく」（20代男性）、「長崎県内はクレジット決済やデビット決済できるお店が他県より少ない。地元金融機関等が、中小規模小売店等に対する端末設置の推進や、個人客へのデビットカード推進等を積極的にするべき」（40代女性）などの意見がありました。

その他、挙げられた意見をみていくと、「情報番組などで、支払い方法の説明を分かりやすく面白く高齢者にもわかるように取り上げてほしい」（50代女性）や、「なぜ国がキャッシュレス化を進めているのかわかりやすく説明する」（30代女性）など、利用方法や利便性などについて、まだ多くの人がよく理解していないこともうかがえました。

また、「キャッシュレス決済だとついお金を使い過ぎてしまうのではないかという懸念がある」（60代女性）、「使用した金額合計が家族分すぐにわかるようになったら良いなと思います。家計を預かる身としては家族分把握できる仕組みがあると有難いです」（30代女性）など、個人が簡単に支出や残高を確認できるサービス（アプリ）などがうまく活用されていない様子もうかがえます。

キャッシュレス決済することでポイント還元があるなどの特典を設けるといった、キャッシュレス推進策を講じても、利用者の不安が大きければ、なかなか進まないのではないかとも思えますが、そういったハードルが高いほど、より優れた信頼性と安全性を備えたキャッシュレスサービスの仕組みが開発されることになるでしょう。

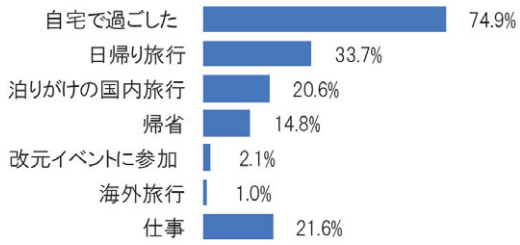
それとともに、利用者の間に、支払い履歴や複数口座の残高が手軽に確認できて、振込みや送金等も簡単にできるようなサービス（アプリ）の活用が普及するようになれば、キャッシュレス化は加速するものと思われます。

～～ リサチャン★ポチっとリサーチ「2019GW総決算」※より～～

今年のGWは60％が「満足」、連休明け初日の気分は35％が「ブルー」

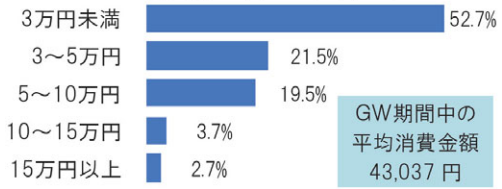
◆　GW期間中の休日の数については、回答者の約半数が「10日」と答えました。期間中の過ごし方については、「休みが多かったので旅行やゴルフもでき、自宅でものんびり過ごせた」（50代男性）といったコメントが多く、外も家も楽しみながら、体力や支出などをうまく配分して過ごした様子がうかがえます。

GW期間中の過ごし方（複数回答）



◆　GW期間中に使ったお金の平均は43,037円となり、連休前に実施したアンケートでの予算42,993円とほぼ変わりませんでした。

GW期間中に使ったお金は？



◆　GW期間を振り返って、「良かった・まあまあ良かった」と答えた人は62.5％で、「社会人になり、遊ぶことも少なくなっている中で長期休暇があったため、色々なところに出掛けることができた」（10代女性）、「次の日を気にしなくて良い日が沢山あって気が休まった」（20代女性）、「日帰り旅行で、渋滞でも、夜遅くの帰宅でも、休みがまだまだ続くと思えばイライラもしなかった。旅行に行っても家でゆっくり体力回復でき、片付けも時間かけてできた」（40代女性）など、長い連休ならではの過ごし方に満足している様子がうかがえました。

一方、連休明け初日の朝の気分はというと、「憂うつ・やや憂うつだった」人が「良かった・まあまあ良かった」人を上回る結果となりました。

連休明け初日の朝の気分は？

※2019年５月７日～10日に実施、298名（男性129名　女性169名）が回答

長崎県内にお住まいの方限定「リサチャン」アンケートモニター募集中！

「リサチャン」は、「長崎」に特化した地域密着型のアンケートサイトです。長崎県内に居住する18歳以上の方ならどなたでも参加できます。簡単な会員登録をするだけで、アンケートのご案内のメールが届きます。あなたもリサチャンのアンケートを通じて意見発信しませんか？　ポイントを貯める楽しみも！　会費等一切無料。いますぐご登録を！　ＱＲコードで簡単アクセス→

～ リサチャン　https://researchan.jp/　リサチャン　長崎 で検索 ～